

なった。

各グループの発表後、黒板には表やグラフ、写真、絵などがいっぱい並んだ。自分たちの力で調べ、他のグループの発表を聞いて納得のいくまで話し合い、子どもの充実感があふれていた授業となった。(資料提供・福井県敦賀市立西浦小学校)

考察

この学習活動は、身近な事象であるマダいの養殖を取り上げ、子どもたちが課題を見だし、それを解決していくという問題解決活動を構成している。

このように、子どもたちが興味ある課題を見付けることができるような教材を開発し、課題を見付けた子どもたちが、自分の課題の解決や実現のイメージを具体的な形にするための方法として、自分にあっている方法、試みたいと思っている方法などの中から選んで決めること、そして、学習活動の展開のそれぞれの過程において、子どもの状況に応じて、必要な提案や助言をしたり、幅広く共感しながら認めたりするなどの支援を行うことが大切である。

(文部省小学校課教科調査官)

「私もよくわからないんです。大体、みんな私の指導なんか聞かないんです。一学期のころは聞いてくれたんですけど。でも二学期になるとだんだん聞かなくなりました。子どもたちが自信もったみたいで、自分の好きなようにやっていいんだって。国語や算数の授業は正解がありますが、生活科にはないですよ。工夫したり発見したことを先生に教えてあげる。先生のものよりもっと面白いものを作ってみよう。先生が知らないものを見つけてあげよう。とにかく私はほめるだけ。私が教えられることばかりでしたので」

秘密は学級づくり。子ども一人ひとりに応じて「ほめる」ことと「自信」をもたせることに気をつけたことが、中井先生の予想を越える工夫や発見を生み出した。そしてこのような「学級づくり」が「遊びや生活を工夫する力」を育む指導の第一のポイントと考える。

多様な人、物、事を巻き込んで

第二のポイントは学校の内外の「ヒト、モノ、コト」の活かし方である。

実は宝物の材料は子どもが学校の外で家庭や地域の人たちから教わりながら見つけたもの。それを工夫して作ったも

生活科

—遊びや生活を工夫する力

馬居政幸

先生に教えてあげる

昨年十一月、伊豆の伊東南小学校(伊郷章校長)の中井久美子先生が担任する一年三組の生活科「あきとあそぼう(教えてあげてね宝物)」に参加する機会を得た。子どもたちは様々に工夫を凝らした秋の宝物屋を開店して元氣一杯活動していた。とりわけ次の二人に感心した。一人は蜂の巣状に並べた一斗牛乳パックの中にコオロギや鈴虫を一匹ずつ入れて売っていたK君。もう一人は活動の真つ最中に教室の片隅で黙々とカッターでスキの穂を切り捨て、残った茎に色を塗ってカタナを製造していたI君。牛乳パックのシューウインドー、スキの穂ではなく茎を利用した刀、いずれも私の常識では考えられないものであった。

なぜこれほどユニークな工夫が生まれたのか。授業終了後、中井先生に尋ねてみた。

のを仲間のお父さんやお母さんに教えてあげてを目的に開店したのが秋の宝物屋。お店づくりを陰で支えてくれたのも家庭の人たちであった。このように中井先生は学校の外も含めた子どもの生活の場全体に生活科の活動を広げ、積極的に家庭や地域の人たちの協力を求めてきた。

子どもの遊びとは、一人ひとりが楽しみながら(主体性)、持てる力すべてを発揮して(総合性)、自己を表現する(創造性)世界。その現れは一人ひとり異なり、時と場と相手により変化する。遊びを豊かにする鍵は、子ども個々の意欲や個性に応じた表現の場と機会の豊富さ。そのため教師の課題は「教科書を等しく教える環境」を、多種多様な活動を創造し合う場」に再構成すること。さらに子どもの生活は家庭や地域こそ重要。そこで生きて働く力の育成のポイントは、家庭や地域の「ヒト、モノ、コト」に子どもが学べる機会をどれだけ豊かにできるかどうかである。

うれしい誤算

第三のポイントは子どもの活動過程へのかかわり方。この点について、この日の活動の冒頭で、お父さんやお母さんに見事な歓迎の挨拶をしたMちゃんのことを紹介した

い。

中井先生はMちゃんのリハーサルを子どもたち全員の前で四回繰り返した。やりたい意欲と実際にできる実力とは別であり、その間を埋めるには努力が必要であることを、子どもたちに気付いてほしかったからである。だがこの先生の思いに反して、四回目のリハーサルでもMちゃんは挨拶文を暗記できなかった。ところが、本番は見事に、それも先生が知らない内容を自分で付け加えて挨拶した。私も含め参加者全員が感動の大拍手。凄い子だねという私の評価に、中井先生は笑いながら、あんなにうまくやるなんて信じられない、と前置きして次のように語ってくれた。

「本番に強い子っているんですよ。その時はくやくて、あの普段の姿はなんだったんだって。でもうれいんです。逆に、この子は大丈夫だ、と思ったら、大体失敗するんですね。だから、ダメだともイイともきめずに、今日はどうかな、と思いつながら毎日子どもたちに接するようになっています。どんな良い子にも波がありますし。心配な子どもがいても、すぐ手をうたずにじっと待つんです。時にはすぐ声をかける場合もありますが……、あんまりはつきりいえないんですけど、この子には今すぐいわなければ、あるいはこつちの子にはしばらくまってみようって。

なんか矛盾するみたいなんですけど」

私は中井先生の厳しい指導がMちゃんの潜在的な能力を引き出したと考える。ただし、彼女の指導は常に子どもが自分で工夫する余地を残した指導。自分なりに努力しその成果が現れることを辛抱強く待ったことも忘れてはならない。子どもたちがそれぞれ自分の意欲を自由に発揮できることが指導の前提。その意欲をその子なりの結果に結ばせるための努力や工夫の意欲に転化させることができるかどうか。これが三つ目の、そして最も重要な指導（支援）のポイントであると考えます。
(静岡大学助教授)

訂正のお知らせ

本誌二月号の九頁十八行目、引用文献に次のような誤りがありましたので訂正します。

誤 Harris, P. L. 1981 ……
正 Harris, P. L. 1989 ……

道徳と学ぶ力

子どもたちのかん高い声に誘われて仕事の手を休め、校長室から窓外に目を移すと、給食を食べ終えた子どもたちが、運動場に飛び出してきて所狭しと走り回っています。

—— 満面に笑みを浮かべて遊んでいる子がいます。人だかりができています。怪我でもしたのでしょうか。涙している子がいます。あの涙は苦いのでしょうか。藤棚のベンチに独り座っている子がいます。仲間に入れてもらえないのでしょうか。それとも、風邪でもひいたのかな。——

運動場は、子どもたちがそれぞれに自己を表現する舞台となり、様々な音色を聞かせてくれるソリストたちの集まりとなりました。あなたたちはそれぞれが主役なのです。自らを思いっきり表現すればいいでしょう。先生たちはあなたたちのすば

村松 鎮 正

しさを引き出すコンダクターになりますから。

一 道徳教育が目指すもの

(1) 道徳の意義

人間は、本来人間としてよりよく生きたいという願いをもっている。この願いの実現を目指して生きようとすると、ここに道徳が成り立つ。道徳は正に自己実現を達成させるために働くものなのである。

しかし、今日、一人ひとりの願いは様々な姿を呈し、価値観の多様化が流行語のように使われるようになってきている。このような時代であるからこそ、日々の生活とのかかわりを通して、目指す道徳的価値とは何なのかを確かに



特集

学ぶ力を伸ばす

「学ぶ力」とは何か

高階玲治 1

「学ぶ力」の心理

梶田正巳 9

子どもの発達と学ぶ力

湯沢正通 15

学ぶ力を伸ばす教師の役割

佐藤公治 22

子どもの「学ぶ力」を支える親・家庭

杉本真理子 27

「個に応じる教育」の今日的課題

新井郁男 32

学ぶ力を支える生活習慣

有村久春 39

成功体験が学ぶ力を伸ばす

杉山雅彦 44

学ぶ力に必要な「読み、書き、そろばん」

石田勢津子 50

競争場面は学ぶ力を育てるか

森 和代 55

学ぶ力と対人関係

佐藤正二 60

教科における学ぶ力の指導ポイント

国語——表現する力、特に「書く力」について

大熊 徹 66

算数——計算の意味を理解し、用いる力

石田淳一 68

理科——問題を追究する力

奥井智久 70

社会——社会的事象について考え、理解する力

寺田 登 72

生活科——遊びや生活を工夫する力

馬居政幸 74

道徳と学ぶ力

村松鎮正 77

特別活動で学ぶ力を伸ばす

成田國英 82

学ぶ力を伸ばす授業の工夫

学ぶ力を伸ばす基本的な方法

吉崎静夫 95

学ぶ力を伸ばす発問・応答

善野 博 100

授業に体験学習を取り入れるコツ

米田裕亮 103

自己評価カードの活用

林智恵子 106

教育相談 学習方法がつかめない子

遠藤幸吉 111

素直でない子——学習態度の改善に向けて

志村充子 114

適応指導学級における学ぶ力の育て方——人間関係のあり方を学ぶ

花井正樹 117

学校週五日制と学ぶ力の育成——文部省の研究協力校実態調査から

有園 格 122

教師の「学ぶ力」を問う

天笠 茂 127

特別企画

小学校でのエイズ教育はどうすればよいか

東京都江東区立第二豊戸小学校 87

文部省登校拒否調査をどう見るか

相馬 実 132

【巻末連載】

学校カウンセリング事典 第19回

カウンセリングの諸理論と技法
精神医学・心身医学

連載

子どもを生かす教育相談室Q&A
教室だより(孤田貞子)94/保健室から(鈴木永子)137/本の紹介143
窓(真仁田昭)38/後記(真仁田昭)144

安食 徹 久保知恵美

138